

平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 河北中 学校
作成日	平成 30 年 2 月 20 日

1 教育目標

『 正しく判断し ねばり強く実践する 心豊かで たくましい生徒の育成 』

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	○目標は適切である。 ○今後とも、開かれた、信頼される学校として、保護者や関係機関、関係団体等との連携・協力を大切にしていきたい。	○目標は適切である。 ○道徳の時間は生徒にとって大事な時間であり、しっかり取り組んでほしい。	○目標は適切である ○授業はしっかり取り組んでほしい。
取組の状況に対する意見	○学校や学年、保健室から発行される保護者や地域向けの「たより」は今後とも続けていくことは大切。 ○学校のHPはできるだけ新しいものを掲載してほしい。	○新聞報道などにあるような、いじめなどが無い学校にしてほしい。 ○「薬物乱用防止や情報モラル」について、今後とも継続して、生徒向けはもちろんであるが、保護者等への啓発も必要では。	○学生ボランティアの活用は、生徒にとってもプラスになるし、学生にとっても将来に向けた良い経験になるのではないかと。 ○数学の少人数授業は、生徒にとってもわかりやすいものになっているように思う。
検証結果に対する意見	○防災対策に関する取組は地域においても行っているが、学校においてもしっかりやってもらいたい。 ○地域における防災の取組において、中学生の役割は極めて大きいと考えている。	○今後とも、教職員と生徒双方の人間関係を大切にしたい学校であってほしい。 ○道徳は、これから生きていく上において大切なものであり、中学生時代にしっかりと身につけてほしい。 ○外部から人を呼んでくる特別授業は今後とも継続してほしい。	○学力のことがいわれているなか、補習などは今後とも続けてほしい。 ○2年生の数学のような少人数での授業は今後とも継続してほしい。
改善方法に向けての意見	○学校からの「たより」の配布は、学校の様子を地域や保護者に知らせる有効な方法の一つであり、今後とも継続してほしい。 ○地域における活動について、学校と連携をとりながら、工夫してすすめてほしい。	○しっかりと取り組んでほしい。	○落ち着いて授業を受けることは、学ぶ第一歩であり、今後ともこうした雰囲気を守ってほしい。 ○クラブの指導などありますが、補習は今後とも続けてほしい。

3 其他のご意見

- 部活動頑張ってもらいたい。
 - 防災教育は命に関わることでもあり、しっかりやってほしい。
- 等のご意見がだされてきました。

